



奈川の人口	
令和5年7月1日現在	
総世帯数	288世帯
総人口	575人
男	275人
女	300人
発行 奈川公民館	
発行者 忠地愛男	
編集者 公民館報編集委員会	
印刷 (株)プラルト	



**第四十一回
野麦峠まつり〜往時に思いはせ〜**

五月二十八日、新緑の野麦峠古道を歩く「第四十一回野麦峠まつり」が四年ぶりに開催されました。かすりの着物等で工女や歩荷に扮した奈川小中学校の児童生徒や先生方と、一般参加者合わせて約八十名が、つづら折りの峠道を歩きました。当日は、高山市高根地区の皆さんも工女姿で参加。物産店も出店いただき、久しぶりに両地区の交流が再開されました。



夢の森図書室

文化センター夢の森に奈川地区福祉ひろばが四月に移転したため、お隣に夢の森図書室が開設となりました。皆様どうぞお立ち寄りください。

〈開室時間〉

月〜金 九時から十七時まで
土・日 九時から十六時まで
〈休室日〉

- ・祝祭日・年末年始
- ・奈川地区行事の開催日等

福祉ひろばは夢の森へ

今年四月から文化センター夢の森に、奈川地区福祉ひろばが移転しました。明るくて環境が良いです。福祉ひろばでは、月一回ふれあい健康教室、各町会で行う出張ミニふれあい健康教室、手作り教室、サークル活動などを行います。コロナ禍でたくさん

五月十九日、奈川小中学校にて、第一回コミュニティスクール運営委員会と、秋に行われる奈川学校創立百五十周年記念事業の実行委員会が行われました。コミュニティスクール運営委員会では、年度が変わったことよって新しく加わっていた委員の皆さんの姿も見られ、同委員会の趣旨や役割等の説明に、熱心に耳を傾けていました。校長先生は、「コミュニティスクール運営委員会は学校主体ではなく、地域で作る活動する会。皆様方には学校と地域をつなぐ役割として、意見

**学校と地域をつなぐ会
〜子ども達の成長を見守っていく〜**

やアイデアを出していた「だきたい」とあいさつされました。児童・生徒数の減少により、一部複式学級を取り入れていますが、少数校ならではの強みや良さも沢山あるとの説明もしていただきました。奈川地区の「地域の子は地域で育てる」という理念を再確認するとともに、百五十周年記念式典への準備も並行して行いながら、地域と学校が一つになって子ども達の成長を見守っていかねばならないと、決意を新たにするとともに、



の制約もありましたが、新しくなった福祉ひろばで、いろいろな内容で計画をしています。地域住民のふれあいの場になつていく福祉ひろばへ、皆さんお出掛けください。

わらびとり～目標達成！！～



五月二十五日、奈川が
行われ、どんなわらびを採った
が
ありました。前日に
た説明会が行われました。
は、「わらびとり集会」
今回の目標は百七十五キロ。そ

わらびとり集会

の日の朝の霜に
やられてしまっ
たわらびもあっ
たので、木の
下に生えていた
のを目指して
黙々と採りま
した。
学校へ戻って
からは仕分け作
業を行い、結果
は昨年を上回
り、二百四十七
キロでした。

ふるさと学習

小学校のふるさと学習は、創立百五十周年にちなんで「奈川学校の歴史を学ぼう」と題して、六月八日に旧入山分校をはじめ、黒川渡本校、寄合渡分校のあった場所を子どもたちが巡りました。



入山分校では実際に学んだ忠地義光さんから、「地域の人たちがたくさんのお金を出し合って建設された

話を楽しくお聞きしました。今後、この学習をさらに深め、秋の記念式典で発表する予定です。

こと「音楽の好きな先生とよく歌っていたこと」「狭い校庭だけど、運動会が楽しかった」など、実際に旧校舎を眺めながら、当時の子どもたちが学ぶ様子に思いを馳せていました。

校舎が残っていない学校跡地では、寄合渡・黒川渡校で学んだ勝山裕康さんから、校舎の写真や図面をもとにエピソードを交えたお

スマイル山雅健康教室

六月の奈川地区福祉ひろばのふれあい健康教室で、松本山雅による健康教室を行ないました。元選手の小林陽介さんとインストラクターの鈴木沙織先生から、タオルとボールを使ったレクリエーション(ゲーム)などを教わりました。二人一組でじゃんけんをしてタオルを引き合うゲームや、四人一組でタオルとボールを使ったゲームなど、勝っても負けても、大笑いしながら、楽しい時間が過ごせました。



ワンソウル山雅!!

奈川公民館総会開催

五月十一日、文化センター夢の森にて、令和五年度奈川公民館総会と奈川地区町内公民館役員会が行われました。

忠地公民館長は、「ここ数年はコロナ禍で行うことができなかった行事がたくさん出ました。また、令和四年度は文化センター夢の森の改修工事が行われたため、行事ができないなど、住民の方々にはご不便をおかけした。

野麦路

六月四日に、満月ストロベリームーンを見ました。月が赤く見えるというわけではなく、北米では毎年六月にいちごの収穫を行うことから、こう呼ばれているそうです。テレビでこのことを知ったとき、何てすてきな名前!と思い、詳しく調べてみました。

アメリカの先住民族は、その月の満月に、時期に合った名前をつけることで、季節を把握していました。農事暦ともいいます。雪が降り積もる二月はスノームーン。様々な花が咲き乱れる五月はフラワームーン。日本の月の呼び名とはまた少し違った魅力的な名前がつけられています。

奈川にも暑い夏が訪れましたが、夜は時折涼しい風が吹きます。満天の星空と個性豊かな名前がつけられた満月を楽しみたいと思います。

